



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2602		
科目名	危機管理基礎演習Ⅱ		
担当教員	吉富 望		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 2		
講義室	1316	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 D P 4－F [探求力・問題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 6－K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（25%） F 2 課題解決（25%） H 1 論理的思考（20%） I 2 情報分析（20%） K 1 ライティング・コミュニケーション（5%） K 2 オーラル・コミュニケーション（5%）		
教員の実務経験	■ 経験した実務の内容 陸上自衛隊に32年間勤務し、この間、第一線部隊において部隊運用に関わる実務に約11年間従事しました。また、内閣官房内閣情報調査室、防衛省防衛局、防衛省情報本部、陸上幕僚監部といった中央機関で防衛力整備、部隊運用、戦略情報に関わる実務に約11年間従事しました。加えて、防衛大学校、陸上自衛隊研究本部、陸上自衛隊小平学校などで教育及び研究開発の実務に約10年間従事しました。 ■ 実務経験をどのように活かした授業にするか 陸上自衛隊における実務のプロセスは、研究と同じプロセスです。すなわち、様々なテーマについて問題点を見出し、問題点の背景・原因を解明し、問題点の解決策を案出し、それらを関係者に説明（プレゼンテーション）するというプロセスです。もちろん、陸上自衛隊の実務では多くの場合、研究だけで終わることは無く、案出した解決策を実現するための更なる取り組みが必要でしたが、適切な研究内容とプレゼンテーションが解決策の実現に向けた環境を醸成する上で重要であることは痛感しました。本演習では、この実務経験を生かして研究手法とプレゼンテーションの双方について分かりやすく教育します。特に、研究成果を正しく伝えるためには、聞く人の立場に立ったプレゼンテーションが重要であることを伝えていきます。 【第2～15回】		
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		

科目概要・キーワード	危機管理に関する多様な研究領域の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するために必要な危機管理に関する基礎的な演習を行います。危機管理学の専門基幹科目における法学科目や、専門展開科目における災害マネジメント領域、パブリックセキュリティ領域、グローバルセキュリティ領域、情報セキュリティ領域の4領域の危機管理系科目を担当する教員が担当し、それぞれの研究領域における研究の手法について指導します。ここでの学びが、3年次以降のゼミナールや危機管理特殊研究でのより専門的な研究活動へとつながります。本科目では、専門的研究テーマに基づいて研究計画を構築し、プレゼンテーションを実施します。授業形式は、演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 危機管理、研究、プレゼンテーション
授業の趣旨	■副題 大学では、専門的な知識のみならず論理的な考え方や研究手法を学ぶことが重要です。大学卒業後にどのような職業についても役に立つ考え方や研究手法を身につけましょう。 ■授業の目的 論理的な考え方や研究手法、ならびに分かりやすいプレゼンテーション手法を身に付けることを目的とします。 ■授業のポイント 本演習では、論理的なプロセスを踏まえた考え方や研究手法を身につけるため、研究テーマについて①問題点の明確化、②問題点の背景・原因の解明、③問題点の解決策の案出の三つの段階に分けてプレゼンテーションを行います。
総合到達目標	■一般総合目標（GIO） 論理的な考え方や研究手法を身につけるため、テーマを選定し、知見を獲得し、問題点を見出し、問題点の背景・原因を解明し、問題点の解決策を論理的なプロセスで案出する方法を理解する。また、研究結果を分かりやすくプレゼンテーションする能力を高めるため、聞く人の立場に立ったプレゼンテーションを行う態度を身につける。 ■個別行動目標（SBOs） SBO1 5分間で説明可能で、聞く人が関心を持つテーマを選定できる。（第2～15回） SBO2 限られた時間内にプレゼンテーションに必要な知見を得ることができる。（第2～15回） SBO3 問題点を見出し、問題点の背景・原因を解明し、問題点の解決策を論理的なプロセスで案出することができる。（第2～15回） SBO4 聞く人にとって分かりやすいプレゼンテーションスライドを作成することができる。（第2～15回） SBO5 聞く人の注目を集める話しぶり、身振り、手ぶりができる。（第2～15回）
成績評価方法	■研究発表6回(50%)：適用ルーブリック F1・F2・H1・I3・K1・K2 （評価の観点）テーマ選定、問題抽出、問題の原因・背景の解明、問題の解決策案出のプロセスが根拠を持って論理的に分かりやすく説明されているかを問います。 （フィードバックの方法）各人の発表後に問答しながら指導します。 ■最終課題1回（20%）：適用ルーブリック F1・F2・H1・I3・K1・K2 （評価の観点）テーマ選定、問題抽出、問題の原因・背景の解明、問題の解決策案出のプロセスが根拠を持って論理的に分かりやすく説明されているかを問います。 （フィードバックの方法）提出後にコメントを送信します。 ■リアクション・ペーパー6回(10%)：適用ルーブリック F1・H1・K1 （評価の観点）他の学生の発表内容を的確に認識し、発表要領に対する建設的なコメントなどを適切に記載しているかを問います。 （フィードバックの方法）次回の発表の際に教員が前回のリアクション・ペーパーに対するコメントを述べます。 ■研究実施レポート7回(10%)：適用ルーブリック F1・F2・H1・I3・K1 （評価の観点）研究にあたって収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを適切に記載しているかを問います。 （フィードバックの方法）次回の発表の際に教員が前回の研究実施レポートに関するコメントを述べます。 ■授業参加度（発言等）(10%)：適用ルーブリック F1・H1・K2 （評価の観点）積極的かつ論理的に発言しているかを問います。 （フィードバックの方法）その場で応答します。 ※研究発表を全て実施し、最終課題、リアクションペーパー及び研究実施レポートを全て提出することが成績評価の最低条件です。
履修条件	■研究能力とプレゼンテーション能力を高めることに意欲的であることが履修条件です。 ■研究発表を全て実施し、最終課題、リアクションペーパー及び研究実施レポートを全て提出

	する覚悟を持っていることが履修条件です。	
履修上の注意点	研究とプレゼンテーションを計6回行いますのでハードワークとなりますが、真摯かつ積極的に取り組めばきっと能力は高まりますので、がんばりましょう。	
授業内容	回	内容
	1	① 授業テーマ：導入教育 ② 授業概要 (1) 教員の自己紹介 (2) 演習の全般説明 ・ 演習の目的、内容、スケジュール ・ 成績評価要領 (2) グループ分け クラス全員をA、B、C、Dグループに分ける。 (3) 研究手法及びプレゼンテーションの基礎 課題解決型の研究における手法（プロセス）ならびにプレゼンテーション要領について確認する。(H1,K1) (4) 研究課題の付与 ・ 課題① 「〇〇に関する研究」（〇〇は学生が決定） - 課題①－1 「〇〇における問題点」 - 課題①－2 「〇〇における問題点の原因・背景」 - 課題①－3 「〇〇における問題点の改善策」 ・ 課題② 「△△に関する研究」（△△は学生が決定） - 課題②－1 「△△における問題点」 - 課題②－2 「△△における問題点の原因・背景」 - 課題②－3 「△△における問題点の改善策」 ・ 最終課題「△△における問題点、問題点の原因・背景、問題点の改善策」 ③ 予習（120分） これまでに勉強した研究手法（プロセス）及びプレゼンテーション要領について再確認する。 ④ 復習（120分） 授業で教育された研究手法（プロセス）及びプレゼンテーション要領について再確認する。
	2	① 授業テーマ：課題①－1 「〇〇における問題点」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (1) Aグループ：教室での発表 ・ 課題①－1の研究発表（各人5分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (2) Bグループ：研究日 ・ 次回授業での課題①－1の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (3) Cグループ：オンラインでの発表 ・ 課題①－1の研究発表（各人5分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 (4) Dグループ：研究日 ・ 次回授業での課題①－1の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 ③ 予習（200分） 課題①－1の発表準備を行う。（Aグループ、Cグループ共通） ④ 復習（40分） 発表及び研究で得られた学びを再確認する。

3	① 授業テーマ：課題①－１「〇〇における問題点」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (1) Aグループ：研究日 ・ 次回授業での課題①－２の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (2) Bグループ：教室での発表 ・ 課題①－１の研究発表（各人５分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (3) Cグループ：研究日 ・ 次回授業での課題①－２の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (4) Dグループ：オンラインでの発表 ・ 課題①－１の研究発表（各人５分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 ③ 予習（200分） 課題①－１の発表準備を行う。（Bグループ、Dグループ共通） ④ 復習（40分） 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
4	① 授業テーマ：課題①－２「〇〇における問題点の原因・背景」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (1) Aグループ：オンラインでの発表 ・ 課題①－２の研究発表（各人５分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 (2) Bグループ：研究日 ・ 次回授業での課題①－２の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (3) Cグループ：教室での発表 ・ 課題①－２の研究発表（各人５分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (4) Dグループ：研究日 ・ 次回授業での課題①－２の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 ③ 予習（200分） 課題①－２の発表準備を行う。（Aグループ、Cグループ共通） ④ 復習（40分） 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
5	① 授業テーマ：課題①－２「〇〇における問題点の原因・背景」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (1) Aグループ：研究日

	・ 次回授業での課題①－３の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (２) Bグループ：オンラインでの発表 ・ 課題①－２の研究発表 (各人５分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (３) Cグループ：研究日 ・ 次回授業での課題①－２の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (４) Dグループ：教室での発表 ・ 課題①－１の研究発表 (各人５分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 ③ 予習 (200分) 課題①－２の発表準備を行う。(Bグループ、Dグループ共通) ④ 復習 (40分) 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
6	① 授業テーマ：課題①－３「〇〇における問題点の改善策」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (１) Aグループ：教室での発表 ・ 課題①－３の研究発表 (各人５分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (２) Bグループ：研究日 ・ 次回授業での課題①－３の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (３) Cグループ：オンラインでの発表 ・ 課題①－３の研究発表 (各人５分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 (４) Dグループ：研究日 ・ 次回授業での課題①－３の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 ③ 予習 (200分) 課題①－３の発表準備を行う。(Aグループ、Cグループ共通) ④ 復習 (40分) 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
7	① 授業テーマ：課題①－３「〇〇における問題点の改善策」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (１) Aグループ：研究日 ・ 次回授業での課題②－１の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出

	(2) Bグループ：教室での発表 - 課題①－3の研究発表（各人5分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) - 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 - 担当教員の実務経験を踏まえたコメント - 授業後にリアクションペーパーを提出 (3) Cグループ：研究日 - 次回授業での課題②－1の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) - 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (4) Dグループ：オンラインでの発表 - 課題①－3の研究発表（各人5分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) - 担当教員の実務経験を踏まえたコメント - 当日中にリアクションペーパーを提出 ③ 予習（200分） 課題①－3の発表準備を行う。（Bグループ、Dグループ共通） ④ 復習（40分） 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
8	① 授業テーマ：課題②－1「△△における問題点」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (1) Aグループ：オンラインでの発表 - 課題②－1の研究発表（各人5分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) - 担当教員の実務経験を踏まえたコメント - 当日中にリアクションペーパーを提出 (2) Bグループ：研究日 - 次回授業での課題②－1の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) - 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (3) Cグループ：教室での発表 - 課題②－1の研究発表（各人5分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) - 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 - 担当教員の実務経験を踏まえたコメント - 授業後にリアクションペーパーを提出 (4) Dグループ：研究日 - 次回授業での課題②－1の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) - 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 ③ 予習（200分） 課題②－1の発表準備を行う。（Aグループ、Cグループ共通） ④ 復習（40分） 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
9	① 授業テーマ：課題②－1「△△における問題点」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (1) Aグループ：研究日 - 次回授業での課題②－2の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) - 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (2) Bグループ：オンラインでの発表 - 課題②－1の研究発表（各人5分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2)

	・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (3) Cグループ：研究日 ・ 次回授業での課題②－2の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (4) Dグループ：教室での発表 ・ 課題②－1の研究発表 (各人5分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 ③ 予習 (200分) 課題②－1の発表準備を行う。(Bグループ、Dグループ共通) ④ 復習 (40分) 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
10	① 授業テーマ：課題②－2「△△における問題点の原因・背景」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (1) Aグループ：教室での発表 ・ 課題②－2の研究発表 (各人5分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (2) Bグループ：研究日 ・ 次回授業での課題②－2の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (3) Cグループ：オンラインでの発表 ・ 課題②－2の研究発表 (各人5分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 (4) Dグループ：研究日 ・ 次回授業での課題②－2の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 ③ 予習 (200分) 課題②－2の発表準備を行う。(Aグループ、Cグループ共通) ④ 復習 (40分) 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
11	① 授業テーマ：課題②－2「△△における問題点の原因・背景」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (1) Aグループ：研究日 ・ 次回授業での課題②－3の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (2) Bグループ：教室での発表 ・ 課題②－2の研究発表 (各人5分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (3) Cグループ：研究日

	・ 次回授業での課題②－３の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (４) Dグループ：オンラインでの発表 ・ 課題②－２の研究発表 (各人５分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 ③ 予習 (200分) 課題②－２の発表準備を行う。(Bグループ、Dグループ共通) ④ 復習 (40分) 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
12	① 授業テーマ：課題②－３「△△における問題点の改善策」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (１) Aグループ：オンラインでの発表 ・ 課題②－３の研究発表 (各人５分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 (２) Bグループ：研究日 ・ 次回授業での課題②－３の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (３) Cグループ：教室での発表 ・ 課題②－３の研究発表 (各人５分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (４) Dグループ：研究日 ・ 次回授業での課題②－３の研究発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 ③ 予習 (200分) 課題②－３の発表準備を行う。(Aグループ、Cグループ共通) ④ 復習 (40分) 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
13	① 授業テーマ：課題②－３「△△における問題点の改善策」 ② 授業概要 教員の実務経験を踏まえて授業を行います。 (１) Aグループ：研究日 ・ 最終課題に向けた資料収集・整理、内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (２) Bグループ：オンラインでの発表 ・ 課題②－３の研究発表 (各人５分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 授業後にリアクションペーパーを提出 (３) Cグループ：研究日 ・ 最終課題に向けた資料収集・整理、内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 (４) Dグループ：教室での発表

		・ 課題②－３の研究発表（各人５分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションを行う(K1,K2) ・ 各人の研究発表後に学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメント ・ 当日中にリアクションペーパーを提出 ③ 予習（200分） 課題②－３の発表準備を行う。（Bグループ、Dグループ共通） ④ 復習（40分） 発表及び研究で得られた学びを再確認する。
	14	① 授業テーマ：最終課題「△△における問題点、問題点の原因・背景、問題点の改善策」 ② 授業概要 ・ 教員の実務経験を踏まえて、質問等に対応します。 ・ A、B、C、Dグループ共通：これまでの指導を踏まえて、最終課題の提出に向けた資料収集・整理、内容の取り纏め、パワーポイント作成など (F1,F2,H1,I2) ・ 研究実施レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出 ③ 予習（200分） ・ これまでの指導事項を整理する。 ・ 最終課題の研究を行う。 ④ 復習（40分） 研究で得られた学びを再確認する。
	15	① 授業テーマ：最終課題の完成・提出 ② 授業概要 ・ 教員が発表の一例を示します。 ・ 教員の実務経験を踏まえて質問等に対応します。 ・ A、B、C、Dグループ共通：提出日２４時までに最終課題を提出 ③ 予習（200分） 最終課題を完成させる。 ④ 復習（40分） 本演習での学びを再確認する。
関連科目	「危機管理特殊研究 1 RMGT4611」	
教科書	無し	
参考書・参考URL	無し	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 第１回授業で告知します。 ■オフィスアワー 月曜日５限。なお、随時、研究室（７０２号室）で対応しますが、研究室に不在の場合もあるので、事前にメール等でアポイントメントを取ることをお勧めします。	
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%：パブリックセキュリティ25%：グローバルセキュリティ25%：情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学90%：法学10%	

